

(株)栄ライスサポート(日田市天瀬町)

大分県知事表彰受賞!



(株)栄ライスサポートのメンバー全員で

(株)栄ライスサポートは農林水産業での長年の活動が評価され、11月3日の文化の日に大分県功労者として表彰されました。

受賞を祝して、(株)栄ライスサポートの主な取組についてご紹介します。

昭和51年に農業後継者を中心に18名で栄稲作協業組合を設立、平成21年に農事組合法人として法人化、平成23年に株式会社化しました。

45年間にわたり乾燥調製業務の請負を中心に活動し、法人化後は農地集積を進め、水稻等の生産も徐々に拡大しています。また、天瀬町を核として日田市内全域で作業受託を行い、市の全農業集落数の18%にあたる59集落をカバーしています。

構成員はそれぞれが自ら、なし、ぶどう、畜産などの農業経営をしつつ、連携を図りながら法人作業をおこなっており、中山間地域におけるモデル経営の一つとなっています。

農業後継者の現金収入や交流の場として役割を発揮しつつ、68歳定年制や退職金支給制度を取り入れるなど後継者の確保・育成にも積極的です。

経営理念は「地域貢献」であり、今後も地域の担い手としての活躍が期待されます。

《目次》

2ページ 水田管理省力化研修

3ページ 鳥獣害研修・地域農業経営サポート機構の取り組み

4ページ 水稻新品種「なつほのか」成績・黒にんにく販売開始

最新の農作業機械を実演

水田管理省力化研修

令和3年7月11日 九重町恵良

水稲栽培においては、中間管理における作業時間や法面の草刈り作業の負担などが課題であり、作業の省力化・効率化を図ることが求められています。

近年、各農機具メーカーから様々な省力化技術を用いたスマート農業機械が開発されており、農作業の平準化や効率化等に大きな効果が期待されています。

そこで、メーカーや全農等協力のもと、水稲の追肥や畦畔管理作業における最新の省力化技術について学ぶ研修会を開催しました。

研修会では、各農機具メーカーから下記の省力化機械について機種ごとの性能などの説明の後、実演を行いました。

なかでも参加者の注目が集まったのは、ドローンでの追肥と、ラジコン式草刈り機でした。

<実演内容>

作業	実演機
追肥	ブームタブラー
	ドローン
畦畔管理	ラジコン式草刈り機
	ウイングモア
	スパイダーモア



○畦畔管理の機械



○ブームタブラー

○ドローンでの追肥作業○

実演で使用したドローンでは、肥料を17kg搭載可能で、80aほどの圃場を20分で散布することができました。



○ラジコン式草刈り機○

傾斜角45度の畦畔での作業が可能でした。



参加者からは「いろいろな機械があり参考になった」「ラジコン草刈り機の性能はよいが、金額が気になる」「ドローンで病害虫防除だけでなく、追肥もできるのは魅力的だ」といった声が聞かれました。

どちらも高価な機械ですが、中山間地域等直接支払交付金の協定集落などで共同利用することで作業の省力化を図ってみたいはいかがでしょうか。

振興局では、今後とも農作業の省力化、経営規模拡大につながる情報の発信を行っていきます。

農産物を鳥獣害被害から守ろう！

鳥獣害対策研修会(玖珠九重集落営農組織連絡協議会)

中山間地域の多い玖珠九重地域では野生鳥獣害による農業被害が深刻です。そこで、玖珠九重集落営農組織連絡協議会では、会員を対象とした集落における効果的な農作物の被害防止策を学ぶため、研修会を実施しました。

大分県の鳥獣害対策担当の広域普及員を講師に招き、パワーポイントや映像資料を用いた動物の生態や具体的対策に関する室内研修の後、参加者全員で現地での柵の設置状況の確認、問題点・改善点について意見交換を行いました。



柵の改善点を指摘！

参加者からは、「鳥獣害の生態について映像資料で確認できたのがよかった」「早速自分の集落の点検を行いたい」との声があり、大変好評を得ました。

適した鳥獣害対策を行うことで被害は減少します。鳥獣による被害にお悩みの方は、早急な対策の導入、定期的な点検を行うことをおすすめします。

地域農業サポート機構の活動紹介

<九重町>

中山間直接支払交付金事務を代行します

九重町地域農業サポート協議会では九重町の中山間集落協定へ、中山間地域等直接支払交付金に係る資料作成等の事務作業について代行支援を行っています。

料金は、交付額の5%(上限10万円/協定)です。

事務作業の簡素化、効率化のためにも事務代行を検討してみたいかがでしょうか。

詳細等の相談、申込み等は九重町役場農林課(TEL:0973-76-3804)までお問い合わせください。



<玖珠町>

さといもの機械化体系を試してみませんか？

さといもは適度な土壌水分を必要とするため、水田への高収益作物導入を推進する中で有望視される品目です。玖珠町でも以前から多くの方が作付していましたが、植付けや選別・調整に多くの労力を要するため、小面積の作付にとどまっていた。

そこで、玖珠町地域農業サポートセンターでは植付け作業の受託など新たな取り組みを計画しています。料金や受託条件等の詳細は後日広報を行う予定です。

労力負担にお困りの方、規模拡大や機械導入を検討中の方、是非新サービスの利用をご検討下さい。

サービス内容:植付け(作業受託)、調整(機械貸出し *選別機および毛羽取り機)

水稲新品種「なつほのか」高単収を実証

坪刈単収は「ヒノヒカリ」に比べ18%多収！

今年度、日田市大字小野の(農)小野谷が実証栽培した水稲新品種「なつほのか」の坪刈り調査での単収は697kg/10aとなり、隣接するほ場で栽培した「ヒノヒカリ」の単収591kg/10aに比べ18%多収になりました(いずれも篩い目1.7mm)。

なお、コンバイン収穫した実収量においても、「なつほのか」は「ヒノヒカリ」より約50kg多い555kg/10a(篩い目1.85mm)となり、高単収を実証しました。



○ヒノヒカリに比べ大粒でした

【実証は調査結果】

品種	田植日 月.日	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	玄米重 kg/10a	千粒重 g
なつほのか	6.05	8.12	9.21	95	21.5	300	697	23.1
ヒノヒカリ	6.19	8.26	10.08	95	18.1	413	591	20.8

※玄米重及び千粒重は、粒厚1.7mm以上の値

地域の作物を活用し6次化にチャレンジ！

杉河内営農組合(日田市天瀬町)

杉河内営農組合(日田市天瀬町)では令和2年に完成した加工所を活用し、農産加工の取り組みを進めてきました。その一環で、地域で生産されたにんにくを原料とした“黒にんにく”を商品化、販売を開始しています。

本場の青森県から導入した加水式の製造機で約1ヶ月熟成された杉河内の黒にんにくは甘みを感じられ、特有のにおいも控えめなことが特徴です。10月から営農組合や市内取扱店で販売が開始され、好評の声が多く聞かれリピーターも着々と増えている状況です。

管内は全域が中山間地域で条件不利地が多く、コスト削減には限界がありません。付加価値をつけることで収益性を高める手段として、生産だけではなく加工や販売への取り組みを実践する例が増えつつあります。このような取り組みを検討されている方は振興局にご相談下さい。

* 黒にんにくの参考価格:1,200円(200g)

(* 本年の製造は12月いっぱいの見込み)

* 杉河内営農組合の黒にんにくの間合せ先:

杉河内営農組合(代表 平野一義) 0973-57-9422



作成・発行 大分県西部振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化班
監 修 大分県集落営農推進西部支部
TEL:0973-23-2217 FAX:0973-23-3473
E-mail:nosan-seibu@pref.oita.jp